平成３０年７月１８日

児童館・児童クラブ・放課後子ども教室担当者　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　青少年育成課長

事故防止の徹底について（通知）

　日頃より、各児童館・児童クラブ並びに放課後子ども教室の運営に当たっては、地域の実情に応じた運営にご尽力いただき、ありがとうございます。

　さて、これまでも、事故防止・安全確保に向けて取組を進めていただいているところではありますが、さらに、下記の安全管理のポイントを参考にして、取組の強化をお願いいたします。

記

１　子どもへの指導と見守り

□　安全で適切な使い方について

　　　　　　　　　○肋木、ラケット、ボールなどの用具の使い方を具体的に指導する。

○はさみなどの管理をする。（特に活動中）

　　　　　　　　　○スペースに適した人数にする。

　　　　　　□　活動時の適切な服装について

　　　　　　　　　○適切な服装か確認する。（緊急避難対応のために内履きを履いている

か。フード付きの上着は危険がないか。帽子の着用の有無はどうか。）

　　　　　　□　安全な行動の仕方について

○行動の基本を確認する。トラブルやけがを防止するために、気持ちの高ぶる行為を控えるよう指導する。（約束…大きな声を出しません。大きな音をたてません。走りません。物を投げません。物を振り回しません。トイレや水飲みからすぐ戻ります。など）

　　　　　　　　　○活動に応じた行動を確認する。

○活動内容の特性を伝える。

○活動内容によって起こりうる事故や怪我を想定しつつ、事故防止を徹底する。

　　　　　　□　施設・設備の使用や諸注意について

　　　　　　　　　○内外の施設・設備の適切で安全な使用を現場で説明する。

　　　　　　　　　○必要に応じた使用の制限をする。

　　　　　　□　天候にかかわる諸注意について

　　　　　　　　　○熱中症を予防する。（気温の確認、こまめな休憩と水分の補給、子ど

もの表情の観察）

２　施設・設備の確認

　　　　　　□　施設・設備の安全の確認について

○転落（窓、出入り口、階段手すり）の危険はないか、手で触って確

認する。

○棚などは転倒しないように、ベルトやねじなどで固定する。

○落下しそうな物を棚の上には置かない。

　　　　　　　□　救急箱の用意について

□　ＡＥＤの設置場所の確認について

　　　○使用できるように、２年に１回は研修を受ける。

　　　　　　　□　緊急時の連絡先の確認について（保護者、医療機関、青少年育成課）

３　施設への移動と帰宅方法

　　　　　　　□　終了後の行動の確認について

○帰宅時刻・場所・方法（迎えの有無）などを確認する。

　　　　　　　□　交通事故への注意について

　　　　　　　　　　○一時停止・左右確認の徹底、反射バンド着用などをする。

　　　　　　　□　不審者への注意について　**「いかのおすし」**

**いか**・・・ついて**いか**ない

**の**・・・**の**らない

**お**・・・**お**おごえを出す

**す**・・・**す**ぐにげる

**し**・・・**し**らせる

４　組織的な指導と報告について

　　　　　　　□　事故防止の徹底について

○全職員で安全管理のポイントを周知し、共通理解し、実践する。

○役割分担をして、安全体制を整える。

　　　　　　　□　活動の中止について

○危険な様子を見逃さず、その場で注意し危険な行為を即刻やめさせる。（個別指導と全体指導）

　　　　　　　□　報告について

○見取ったことを、保護者引渡し時や他の職員に引き継ぐ際に、必ず報告する。

○児童館長に報告するとともに、必要に応じて青少年育成課にも速報を上げる。

５　その他

　　　　　　　□　軽微な怪我は応急手当てをする。重症な怪我や首より上の怪我は、保

護者に迎えを依頼して医療機関の受診を勧める。緊急を要する場合は

救急車を要請するなど、適切かつ慎重に対応する。

　　　　　　　□　学校内での事故や怪我は、学校職員の協力を要請する。

　　　　　　　□　児童館（児童クラブ）のマニュアル（長岡市コミュニティセンター運

営の手引き）を全職員に周知し、緊急時（火災や地震等の非常事態発

生・けがや事故の発生）の対応ができるようにしておく。

長岡市教育委員会青少年育成課　青少年係

　　　　担当　　　丸山、小林（悟）

　　　　　　　ＴＥＬ　３９－２３９３

　　　　　　　ＦＡＸ　３９－２３９４